

## 第1回定例会

### 【可決された議案】

平成23年度予算が修正可決されました。平成23年度予算の詳細は2～6ページをご覧ください。

このほか、下記の議案など合計44件が可決されました。

平成22年度一般会計等補正予算  
主に次の内容で総額211億6,698万円を補正するものです。

- ①地元中小企業の受注機会を拡大するための市有施設整備
- ②DV・自殺予防対策の体制強化
- ③受給者の増加により、不足が生じる見込みとなった生活保護費などの扶助費
- ④道路除雪費

## 委員会の主な活動状況

〔2/11～3/10〕

### 総務委員会

「札幌市の市長と副市長の退職金を廃止することを求める陳情」「人事管理業務の運営見直しに関する陳情」「個人情報保護条例の改正もしくは解釈の見直しに関する陳情」および「行政情報課業務の運営見直しに関する陳情」の初審査を行い、不採択とすべきものと決定しました。(3/2)

### 財政市民委員会

路面電車の活用に係る市民議論の結果について、市民まちづくり局から説明を受け、質疑を行いました。また、「札幌市内市電延伸計画の中止を求める陳情」の審査を行い、継続審査としました。(2/21)

### 文教委員会

「『まなびの教室』の各区増設・早期実現を求める陳情」の初審査を行い、継続審査としました。(2/21)

### 厚生委員会

「国民健康保険料の大幅引き下げを求める請願」の初審査を行い、継続審査としました。(2/21)

### 建設委員会

札幌市住宅マスタープラン(案)について、都市局から説明を受け、質疑を行いました。(2/21)

### 第一部・第二部予算特別委員会

副委員長の互選、理事制の設置、審査日程、発言方法について決定しました。(2/17)

平成23年度予算案などを審査しました。(2/23、2/25、3/2、3/4、3/7)

### 議案審査のための常任委員会

関係する各常任委員会において、それぞれ審査を行いました。(2/21、2/22)

## 若年層の就労支援

さとう のりこ  
佐藤 典子

市民ネット



問 厳しい労働環境に置かれた若年層に対し、これまで行ってきた就労支援事業の実績を踏まえ、さらに支援の拡充を図るべきと考えますが、いかがですか。

答 ジョブスタートプログラム事業では対象者を拡大し、若年層職場定着支援事業では宿泊研修を実施するほか、若年層就業促進事業では試験的な就労を組み込んだコースを新設します。

問 未就労の新卒者に対する給付金の継続や範囲の拡大など、さらなる支援策を講じるべきですが、いかがですか。

答 求職者に必要な能力の開発や、企業の採用意欲を喚起する事業など、効果が高く、雇用創出が見込める施策を積極的に検討していきたいと考えています。



## 議会事務局からのお知らせ

### ● 会議録の検索

本会議および委員会の会議録は、市役所15階議会図書室と2階市政刊行物コーナーで閲覧できます。このうち、本会議の会議録については、市内の図書館などでもご覧いただけます。

また、会議録はホームページの会議録検索システムでも公開しています。発言者、会議の種類、キーワードにより、ご覧になりたい会議録を簡単に検索できますので、大変便利です。ぜひ、お気軽にご利用ください。

HP [kaigi.city.sapporo.jp/voices](http://kaigi.city.sapporo.jp/voices)

## ていねプールの存続

いのうえ こ  
井上ひさ子

共産党



問 平成22年6月の市民評価(事業仕分け)で、ていねプールは廃止と判定されましたが、存続を求める市民の声をどう受け止めているのか伺います。

答 市民評価に対する意見や、子どもや親からの声のほか、子ども議会の小中学生から直接意見を聞きました。このプールは多くの市民に愛され、親しまれてきた施設とあらためて認識しました。

問 ていねプール利用者の多くは子どもです。子どもの権利条例に基づく「子どもの意見表明権」をどう保障し、意見を聞くつもりなのか伺います。

答 存続・廃止の両面から、議会での議論や子どもを含めた利用者の意見も伺いながら、検討していきたいと考えています。

■編集 札幌市議会事務局  
☎211-3164 FAX218-5143  
■市議会ホームページアドレス  
[www.city.sapporo.jp/gikai](http://www.city.sapporo.jp/gikai)

## サピカの電子マネー開発

まつうら ただし  
松浦 忠

改革維新の会



問 地下鉄のIC乗車券サピカに電子マネー機能を持たせるためのシステム開発について、本市は北洋銀行と合意しました。北洋銀行に独占的利益をもたらす合意が結ばれたことに疑念を感じます。全金融機関へシステムを開放しているJR東日本のカードのように、本市も、市民が使いやすいよう、全ての金融機関に公開すべきではありませんか。

答 北洋銀行との合意は、未来永劫、サピカの商業利用を独占的に行うことを約束したものではありません。システムの開発に投資した北洋銀行が、約1年間商業利用した後は、申し出があれば、全ての利用団体に対して開放していくことが約束されています。